



登米地域の稲作通信 第3号

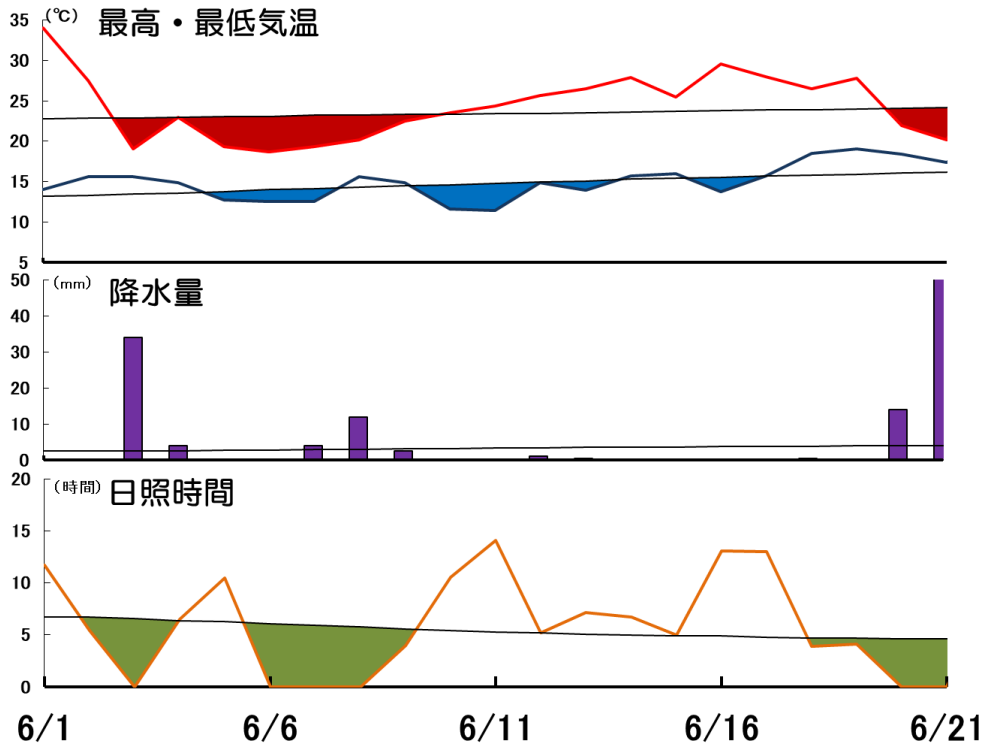
令和8年6月24日発行
 宮城県米づくり推進登米地方本部
 宮城県登米農業改良普及センター
 Tel: 0220-22-6127



<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

【気象経過】

観測地点：米山アメダス



6月中旬の平均気温は平年より 1.1℃高く推移しました。また、12～19日は最高気温が 25℃を超える夏日となりました。降水量は少なく、平年比 44%と平年を下回りました。日照時間は天気の良い日が続き、平年比 147%と平年を上回りました。

東北地方南部は6月20日に梅雨入りしました（速報値）。平年より8日遅く、昨年より3日早い梅雨入りでした。

【気象経過(旬別平年差・比)】

		5月			6月		
		平均気温 (℃)	日照時間 (時間)	降水量 (mm)	平均気温 (℃)	日照時間 (時間)	降水量 (mm)
上旬	本年値	15.1	78.1	50.0	17.9	48.7	56.5
	平年値	11.0	63.7	27.4	16.4	61.5	27.9
	平年差・比	4.2	123%	182%	1.5	79%	203%
中旬	本年値	16.8	103.5	4.5	20.1	72.3	16
	平年値	13.1	63.2	32.1	19.0	49.2	36.4
	平年差・比	3.7	164%	14%	1.1	147%	44%
下旬	本年値	17.4	76.9	63.5			
	平年値	14.5	80.1	36.4			
	平年差・比	2.8	96%	174%			

※上旬は1～10日まで、中旬は11～20日まで、下旬は21～31日までの期間。

【移植栽培】

1 生育状況

【水稻生育調査結果(移植)】

No.	品 種	栽培タイプ	調査地点	栽植密度(株/m ²)	移植日	6月10日				6月19日					
						草丈(cm)	莖数(本/m ²)	葉色(GM)	葉数(枚)	草丈(cm)	莖数(本/m ²)	葉色(GM)	葉数(枚)		
1	ひとめぼれ	Cタイプ	中田町	15.9	5月12日	前年比・差	24.7	122	35.9	4.9	27.7	267	40.2	6.5	
						平年比・差	-9日	108%	89%	3.0	0.3	90%	83%	-0.8	±0
2	ササニシキ	Cタイプ (復活ササニシキ)	豊里町	15.4	5月17日	前年比・差	28.6	154	38.4	6.6	32.0	331	41.4	8.3	
						平年比・差	+8日	95%	115%	2.2	—	90%	101%	3.2	—
3	にじのきらめき	高温対策技術展示ほ	中田町	15.8	5月10日	—	30.4	237	40.7	6.2	35.1	474	44.5	7.9	
4	ひとめぼれ	古川農試 5/11植え	古川農試	—	—	前年比・差	24.9	297	40.6	6.4	29.0	507	43.7	7.8	
						平年比・差	—	104%	109%	0.2	-0.1	76%	98%	-1.4	-0.5
5	ひとめぼれ	古川農試 5/20植え	古川農試	—	—	前年比・差	20.8	116	30.6	4.8	23.1	273	40.9	6.6	
						平年比・差	—	94%	73%	-3.2	-0.7	71%	71%	-2.8	-0.9
6	ひとめぼれ	古川農試 5/29植え	古川農試	—	—	前年比・差	15.9	74	—	3.5	20.7	153	32.7	5.2	
						平年比・差	—	—	—	—	—	—	—	—	

※栽培タイプ「Cタイプ」：農薬・化学肥料節減栽培（慣行栽培の5割減：農薬8成分、化学窒素成分3.5kg以下）

※平年値は、過去5か年（令和3年～令和7年）の平均値。

※古川農試5月29日植えは平年値なし。

6月19日現在、管内の生育調査ほのひとめぼれは草丈と莖数が平年を下回り、葉色と葉数は平年並みとなっています。ササニシキは草丈が平年を下回りましたが、莖数、葉色は平年並みとなっています。

古川農業試験場作況試験ほ場のひとめぼれでは、5/11、5/20 植えともに全ての調査項目で草丈、莖数、葉色、葉数で平年を下回っています。

2 今後の管理

(1) 水管理

気温の上昇とともに土壌の還元が進み、ガスの発生しているほ場が見られます。根の活力低下を防ぐため、特に稲わらをすき込んだほ場や排水不良田では、一時落水し土壌中に十分に酸素を供給することや間断かん水が効果的です。

生育は移植時期によってばらつきが大きくなるため、生育に応じた水管理を行いましょう。目標莖数に達していないほ場は、水深2～3cmの浅水管理で分けつを促しましょう。既に目標莖数に達しているほ場については早急に溝切りをし、中干しを開始しましょう。

中干しの程度は、田面に小さな亀裂が入り、足跡がつく程度の固さとし、幼穂形成期（幼穂長が1mm程度）までに終える

ようにしましょう。中干し終了後、急激に湛水状態にすると土壌の還元が進み酸素不足になり根を傷めやすいため、中干し終了直後は走り水程度として徐々に湛水状態に戻しましょう。

品種別の有効莖数（穂数）の目安







品種	m ² 当たり莖数	1株当たり莖数（本）		
		50株植え	60株植え	70株植え
ひとめぼれ	410～460	27～30	23～25	19～22
ササニシキ	480～510	32～34	26～28	23～24
つや姫	430～470	28～31	24～26	20～22
だて正夢	350～400	23～26	19～22	17～19
金のいぶき	440～490	29～32	24～27	21～23
つきあかり	310～350	20～23	17～19	15～17

(2) 水田内の雑草対策と畦畔管理

ノビエやイヌホタルイ等は斑点米カメムシ類を呼び寄せるので、本田内の除草に努めてください。(※環境保全米では使用できる除草剤が限定されていますので、残草した場合は、まずはJAにご相談ください。)

斑点米カメムシ類は、主にイネ科植物を好むため、生息場所となるイネ科雑草が生えた畦畔や雑草地の草刈りは、斑点米カメムシ類の発生量を減らすのに効果的で、斑点米に対する被害抑制にもなります。畦畔や雑草地の草刈りを7月中旬までに行うことが重要です。

(参考)宮城県の斑点米カメムシの主要種

		
アカスジカスミカメ (体長 4.6~6.0mm)	アカヒゲホソミドリカスミカメ (体長 4.5~6.4mm)	フタトゲムフギカスミカメ (体長 7~9mm)
		
クモヘリカメムシ (体長 15~17mm)	ホソハリカメムシ (体長 8.5~11mm)	

斑点米カメムシの詳細はこちら
(病害虫防除所 HP)

(3) 病害虫防除

◇葉いもち対策 補植用残苗の放置が見られます！速やかに処分を！！

いもち病の病勢進展は 1 回の感染好適条件の出現により、発病残苗などの伝染源を中心に約 1 km の範囲まで拡大します。

発病が見られたときには速やかに茎葉散布剤で防除してください(環境保全米で発生がみられた場合はJAにご相談ください)。



◇葉いもちの感染好適条件の出現状況(BLASTAM)

6月19日現在、葉いもちの感染好適条件の出現は、ほとんどありませんが、今後の気象条件により出現する可能性がありますので、最新の気象条件と出現状況を確認してください。

アメダス資料による葉いもちの感染好適条件の出現状況(BLASTAM 令和8年度)

日付	駒ノ湯	気仙沼	川渡	築館	米山	志津川	古川	大衡	鹿島台	石巻	女川	新川	塩釜	仙台	白石	蔵王	亘理	丸森
6/1	-	-	-	-	-	-	-	?	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	△	-	△	△	-	-	△
6/7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	△	-	-
6/8	△	-	○	○	△	○	△	-	△	-	-	△	-	△	○	○	△	○
6/9	△	△	○	○	○	○	△	△	○	△	△	○	-	△	○	○	-	○
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/13	-	-	-	-	-	-	-	-	△	△	-	△	△	-	-	-	-	-
6/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	?	-	-	-	-	-	-
8/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 宮城県病害虫防除所「葉いもち感染好適条件の出現状況(BLASTAM)」ホームページ：
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>



●	好適条件	葉いもちの大量感染に好適な気象条件(葉面湿潤時間10時間以上、平均気温15~25℃、前5日間の平均気温20~25℃)が出現した日
○	準好適条件1	当日の条件は満たしているが、前5日間の平均気温が条件から外れている場合
△	準好適条件2	葉面湿潤時間の長さのみ好適条件を満たしている場合
-	好適条件なし	
?	判定不能	

【直播栽培】

1 生育状況

【水稻生育調査結果(乾田直播)】 令和8年度から調査地点を豊里町に変更しています。

No.	品 種	栽培タイプ	調査地点	播種月日	調査結果	苗立本数 (本/㎡)	6月10日		6月20日		
							草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色 (GM)
1	ササニシキ	7ラウ耕 グレイドリル体系	豊里町	4月20日	令和8年調 査値	145.6	22.9	204	27.6	358	34.6
2	【参考】 ササニシキ	7ラウ耕 グレイドリル体系	米山町	4月25日	R3~7年の 平均値	79.4	26.5	95	34.6	194	35.9

※令和8年度から調査地点を豊里町に変更しています。

※2の【参考】ササニシキ(米山町)は令和3~7年の5か年間の平均値を使用しています。

6月19日現在、乾田直播栽培ササニシキの草丈は20.8cm、茎数は253本/㎡、葉色は37.0となっており、生育は順調です。

管内の乾田直播栽培ほ場の一部で、イネドロオイムシ、イネミズゾウムシ、イナゴによる葉の食害の痕跡がみられます。必要に応じて防除を検討しましょう。

2 今後の管理

(1) 葉いもち対策

直播栽培では移植栽培で使用されている箱処理剤が使用できません。いもち病対策の種子処理(塗抹処理)を行っていない場合は、水面施用剤を防除適期(6月末~7月初旬)に散布しましょう。

(2) 水管理

直播栽培で水の少ないほ場が見られます。乾田直播栽培では移植栽培に比べて減水深がやや大きいので、水を切らさないよう管理しましょう。有効茎数確保後は軽めに中干しを行い、その後間断かん水に移行しましょう。

(3) 雑草対策

直播で残草した場合は、雑草の種類や葉齢を確認した上で中・後期除草剤を選択し、適期に追加防除を行ってください。

東北地方の向こう1か月の天候の見通し (6/20~7/19)

(令和8年6月18日発表) 仙台区気象台

期間のはじめは冷涼な空気が流れ込みやすく、気温がかなり低くなる見込みです。向こう1か月の気温は平年並か低いでしょう。

平均気温 低40 並40 高20% 平年並か低い見込み

降水量 少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み

日照時間 少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み

農薬危害防止運動実施中 令和8年6月1日から8月31日まで

農薬による事故を未然に防ぎ、消費者の皆さんに安全・安心な農作物を届けるため農薬は適正に使用しましょう。